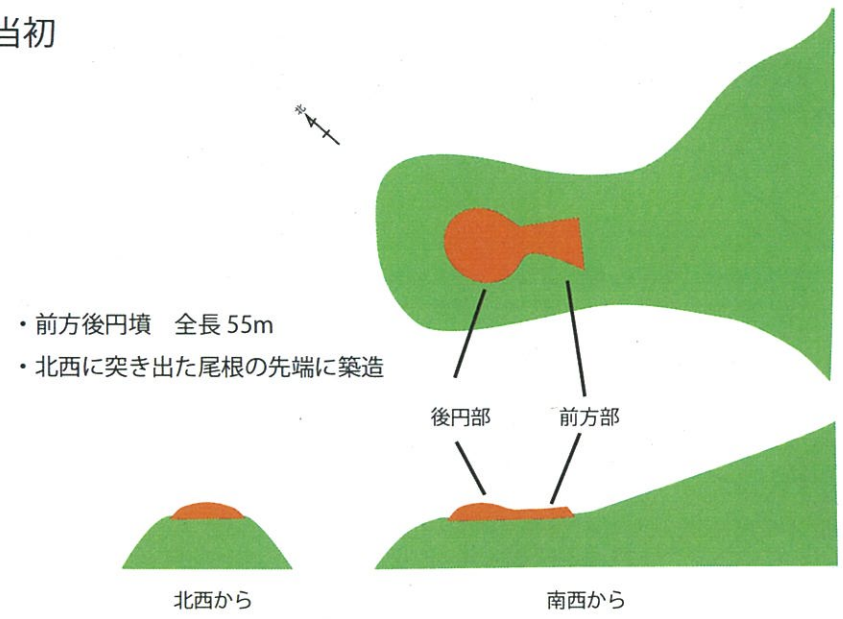


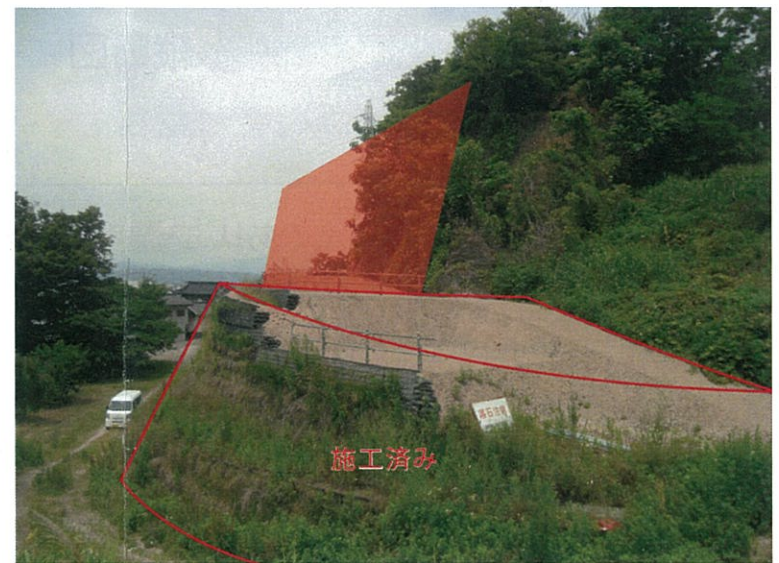
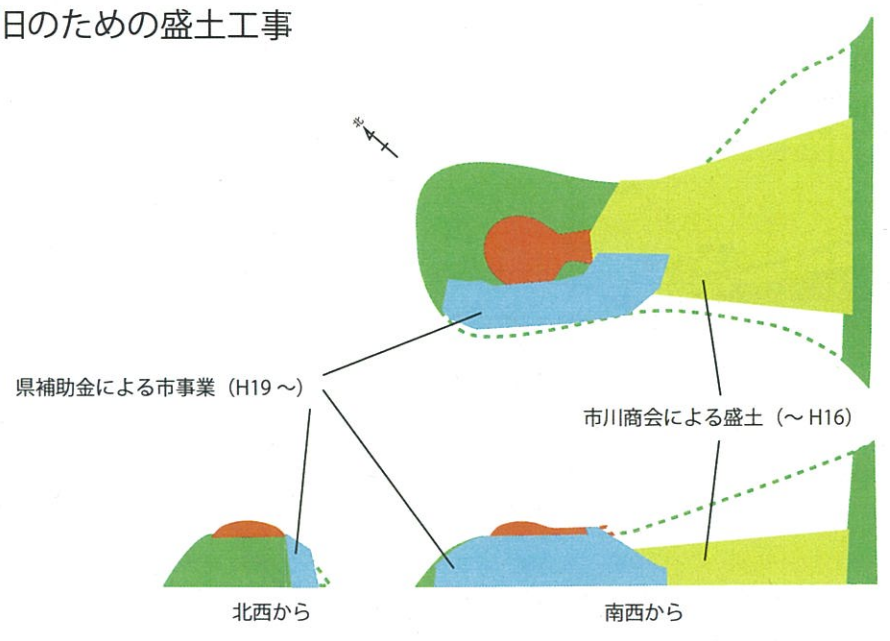
高遠山古墳の発見・破壊・復旧工事の流れ

昭和 54 年 発見。
 昭和 63 年～ 地権者等により、付近の尾根の掘削、採土が行われ、一部破壊。
 平成 8 年 10 月 改めて開発（残った尾根と古墳を完全に削平し宅地化）の協議。
 古墳の消滅を前提に、記録保存のための調査実施決定。
 ※ 発掘調査の結果、県内最古の前方後円墳であることが判明。
 学識者からも現状保存すべきとの指導あり。
 平成 17 年 3 月 長野県史跡に指定。
 平成 19 年 10 月 県補助金を得て、盛土工事に着手。

発見当初

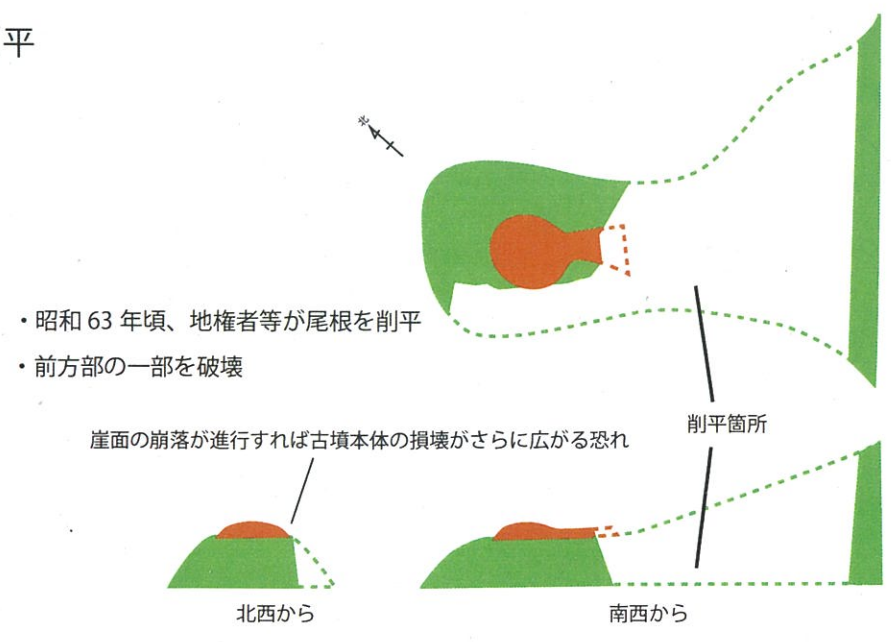


復旧のための盛土工事



盛土施工状況（進捗率 55%）

削平



新工法（コンクリート吹付）による崖面保護

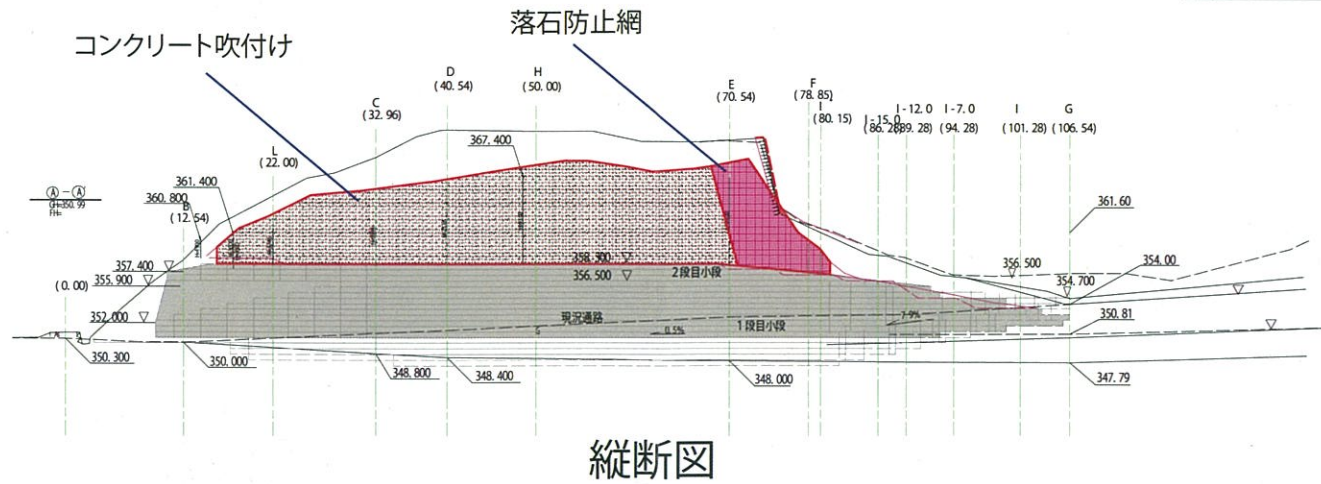


現状（未施工分の崖面）



完成イメージ（東山公園）

高遠山古墳整備概念図



縦断面図

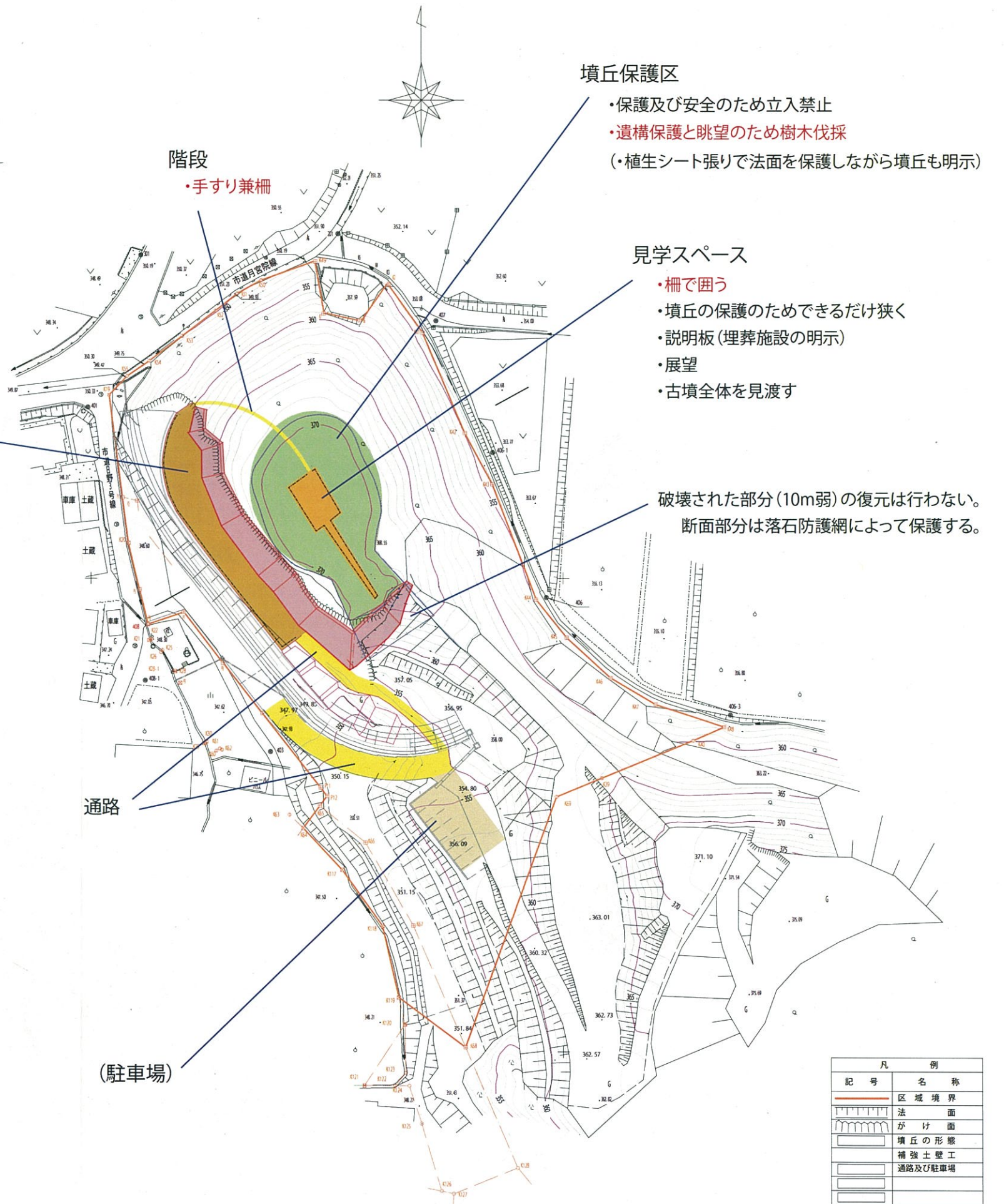
「中野市域は、交通の結節点であり、交流の場である」

モノや情報が集まる場(例:柳沢の銅戈・銅鐸)

- ・善光寺平(=県内)最古の前方後円墳
- ・前方後円墳全盛の中、いちはやく前方後円墳に切り替えた。
前方後円墳=ヤマト王権
前方後方墳=ヤマトと対立する(?)東海系
- ・独自の情報収集が可能だったから。

施工済み盛土天端を利用した
ガイダンスゾーン

- ・眺望の活用
- ・古墳概要説明
- ・周辺の遺跡説明
(・ベンチ設置)



墳丘保護区

- ・保護及び安全のため立入禁止
- ・遺構保護と眺望のため樹木伐採
(・植生シート張りで法面を保護しながら墳丘も明示)

見学スペース

- ・柵で囲う
- ・墳丘の保護のためできるだけ狭く
- ・説明板(埋葬施設の明示)
- ・展望
- ・古墳全体を見渡す

破壊された部分(10m弱)の復元は行わない。
断面部分は落石防護網によって保護する。

※ 墳丘の外観を見せるため西側を重点的に

樹木伐採

古墳本体(=墳丘)

- ・危険防止と墳丘保護のため、
見学スペース以外立ち入り禁止
(・芝張りによる明示)

見学スペース

※ 見学者安全確保
崩落防止措置

安全柵

ガイダンスゾーン

尾根

施工済み盛土

横断面図

記号	名称
	区域境界
	法面 がけ面
	墳丘の形態
	補強土壁工
	通路及び駐車場